

Title	三田史学会例会報告 おしらせ
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1959
Jtitle	史学 Vol.32, No.3 (1959. 11) ,p.145(389)- 145(389)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19591100-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

著者が、胡喬木等と別に前記の區分を採用されてもそれは異とするに足りないが、「第二次内戦と中華人民共和国の時期」という最後の區分は本書の構成からみても——本書には「中華人民共和国の時期」という篇が設けられている——更には中國共産黨を發展史的に考察し理解する便宜上から云つても不都合ではあるまいか。

著者自身もことわつてをられるが本書が獨立した論文の集録であるため、各論文の導入部における重複が多く、一本として見た場合いさゝか冗漫さが目立つのは瑕瑾として惜しまれる。

しかし、非常に資料が乏しく、中國においてすら、資料整備の段階にある共産黨史の研究を、可能なかぎりの文献を利用し、B. I. Schwartz 等アメリカの學者の業績をも參照しつゝすゝめられる著者の意欲的な研究態度に敬意を表するとともに、戰后日本における中國共産史研究の最高水準を示す勞作として中國問題に關心を有せられる方々に一讀をおすゝめしたい。

弱輩の批評じみた紹介が、著者の眞意をそこねることの少しきを希い擇筆する。(大澤一雄)

彙 報

三田史学会例会報告

第四六〇回例会

昭和三十四年十月十四日 於一〇番教室

ローマの没落とアウグスチヌス 近山金次氏

おしらせ

昨秋発行の史学総目索引(創刊号——第三〇巻)の残部
が少々ございますから御入用の方は御申込み下さい。

(額価二五〇円)